

令和4年度 自己評価結果公表シート

令和5年5月20日

学校法人明真学園

認定こども園しゃらこども園

鹿児島県曾於市財部町北俣14番地

TEL 0986-72-0222

1. 本園の教育目標

本園では、仏教精神を土台にした「まことの保育」を柱として、仲良く秩序ある行動をする(平等)、あたたかい包容力のあるところ(慈悲)、幸せを作る智力(智慧)をもったところを養い、子どもの育成と地域社会への貢献をいたします

また仏教の四摂事(布施、愛語、利行、同事)を目指します。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・安心して預けられる安全な園の環境改善に努めます。
- ・思いやり、優しい言葉づかい、ともによろこべる行いを園児とともに目指します。
- ・園児、教職員の健康を守り、病気の蔓延を防ぐよう努力します。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況及び改善点
教育課程・指導	・新教育要領に添い、一人一人の発達状況に応じた指導計画を作成し、保護者の意向も考慮しながら指導する
健康管理・食事	・職員会で事業計画、指導計画を話し合う ・楽しく食べる配慮が少し足りなかった ・栄養士の指導の下、食育学習をおこなう。 ・アレルギーのある児童の食事は職員間の共通理解を徹底し、保護者、医療機関と連携をとって対応する。
保育環境	・手洗い場、トイレは毎日清掃する。寝具は各自持参し、週末には持って帰りきれいにしてくださるよう保護者に協力をお願いしている。 ・砂場のメンテナンスを業者に依頼し、砂の補充、消毒を年2回するようにした。帰りには猫対策として砂場に網をかける ・病虫害の出やすい7、8月頃に消毒作業を依頼している ・水道管の清掃(業者により3年に1回)をする

評価項目	取り組み状況及び改善点
学習指導要領に沿った教育内容	・絵本の部屋、移動図書館により、身近に絵本を感じられ、物語に親しみを持てる時間を作っている。 ・年齢、各々の性格にあった接し方を心がける。。 ・療育に通うこどもたちがいるので、療育施設と話し合いをしながら個別の年間指導計画を立てている ・動植物に接したり地域社会との交流が足りなかった
保育者の育児支援	・登降園時など保護者と直接お話をし、園での様子を報告し、交流を持つ ・保健師と気になる児童の情報交換を行っている ・気になる児童の保護者と意見交換をする ・ネット環境を利用して迅速に情報を共有できた
地域の子育て支援	・子育て支援教室を週二回、火曜日と金曜日に開催し、毎回工夫して保護者の育児の悩みなどを相談できる空間を作る。残念ながら利用者が低迷している。 ・園の行事に参加する場を設けている。新型コロナ防止のため積極的に参加を募ることができなかった。 ・上記支援は新型コロナの予防のため、随時中止した。 ・新型コロナまん延防止のため、ほぼ関連行事は中止 ・
関係機関、団体との連携	・小学校と運動会や幼小連絡会で連携をとっている。 ・新型コロナまん延防止のため中止
実習、ボランティア	・実習生と教職員が話し合う時間を努めてとった。 ・全職員で実習生を育てる気持ちで預かる
基本方針	・こども園の法律の改定に沿って勉強会をする。 ・保護者には入園時に手引きをわたす。
組織運営	・研修の場があるときは全職員が積極的に参加するよう努力したいが、そのような場は中止となり練習の場はなかった ・毎月1回の職員が会議を開き、反省すべき点、改善すべき点を確認する。
守秘義務の尊重	・月1回の職員会議で、個人情報等の守秘義務について確認する

評価項目	取り組み状況及び改善点
情報提供、保護者の意見の反映	・園舎の玄関で行事やお知らせを告知している。 ・HPで情報公開をしている。 ・問い合わせなどに対応するようにしている。 ・園の見学を受け入れている。子育て支援で保護者の意見を聞いている ・週報(クラス便り)を発信し、身近な予定、お願い等を保護者に知らせている
安全、衛生管理	・毎月の避難訓練(火災、地震等)をおこなう ・専門業者に害虫駆除を依頼し、指導してもらった ・手洗い後の消毒、テーブル、椅子、玩具の消毒等に努めている。 ・園庭等の草刈りなど行って、危険箇所の確認をしている

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価 B 達成されている

自己点検、自己評価により客観的に自らを反省し、さらに充実した教育ができるように努力する方向性を見いだしました。現時点ではおおむね目標を達成できました。

教職員相互の情報を共有し、子どもや家庭、地域との関係を密にしています

5. 今後取り組むべき課題

1. 新型コロナのまん延防止のため、衛生管理を徹底する
2. 教育の根本の基本法、憲法などの理解を深めるよう努力する。
3. 安全、安心を確固たるものにできるよう常に問題意識を持つようにする。
4. アレルギーのあるこどもに対する注意を継続していく。注意点を共通の認識として間違いがないように確認する
5. 体力の低下がみられるので、遊びの中で運動する喜びを見つけられる環境をつくっていききたい。
6. 食事や遊びをより楽しくできるような環境整備を目指す。

6. 財務状況

川崎公認会計士事務所の監査により、適正に運営されていると認められた。